

取付説明書

the installation of an H.I.D. conversion kit.



ご注意

この度は、CATZ HIDシステムをお買い上げいただきましてありがとうございます。正しく、安全にお使いいただくため、ご使用には本「取付説明書」をよくお読みください。また、本製品をご使用いただく際、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。



本製品の取付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

製品仕様

[H.I.D バルブ]

- タイプ : H1・H3C・HB
H7・H4・H11/9
- 消費電力 : 35W

ワクシノクルマを何かしたい
発売元
FET

[イグナイタ]

- 品番 : FE-C12-360
- 無負荷二次電圧 : 19~35kv

エフイーティー

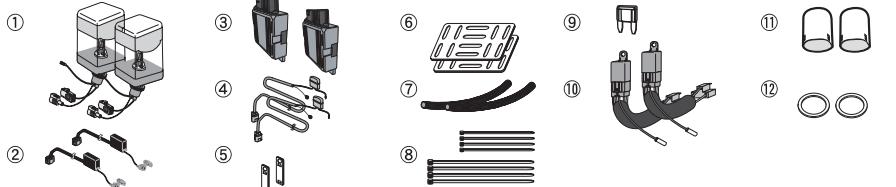
[インバータ]

- 品番 : FE-C12-350
- 定格入力電圧 : DC 12v
- 定格出力 : 85v、35w

アサヒライズ株式会社
エフイーティー事業部
〒379-2131 群馬県前橋市西善町2004
CATZ HOT LINE TEL.027-266-7435

△構成部品

※ご使用まえに部品がすべて揃っているかの確認をおこなってください。



NO	品名	個数	NO	品名	個数
①	H.I.D.バルブ	2	⑧	タイラップ(大・小)	4-4
②	イグナイタ	2	⑨	ミニブレードヒューズ	2
③	インバータ	2	⑩	交換ハーネス(H4に付属)	2
④	インバータ電源ハーネス	2	⑪	コード(H4に付属)	2
⑤	イグナイタ用汎用ステー	2	⑫	HBバルブ用スペーサー(HBに付属)	2
⑥	インバータ用汎用ステー	2			
⑦	コルゲートチューブ	2			

装着前に、必ずご確認ください。

1) 本製品はエンジン始動時にオートライトモード(オートライトスイッチON)になっていると、HIDが点灯しない場合があります。

これは始動時の車両側電力供給の低下などの要因が関係します。不点灯になった場合、一旦、スイッチをOFFにして再度ONにするとHIDは点灯します。

※エンジンを止める際にオートライトモードを解除しておく事をお勧めします。

2) アイドリングストップ機能装着車への装着についてアイドリングストップ機能が付いたお車へHIDキットを装着される場合は、バッテリー電源線をサブバッテリーではなく、確実に電力の取れるメインバッテリーへの装着をお願いします。※一部の車両にはバッテリーが2ヶ搭載されています。

3) アイドリングストップ状態からエンジン始動の際、一瞬、配光にチラツキが起きる場合があります。これはセル始動により車両側の電圧が一時的に低下する為に起る現象です。HIDキットの不良ではありません。

3) コーナーセンサー(ソナー)が装着されている車両の場合、コーナーセンサー(ソナー)が誤作動の可能性があります。

4) 耐久年数の過ぎているバッテリーをご使用されると、バッテリーの電圧低下によりH.I.D.の不点灯やシステムの不具合が起こる可能性があります。

また、電装品を多く取付け、ご使用されていると、バッテリーに負担がかかりH.I.D.システムが正常に作動しない場合があります。不点灯になった場合、一旦、スイッチをOFFにして再度ONにして点灯するか確認を行なってください。

△ 使用に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

●必ず、バッテリーのマイナスケーブルを外す。

※ランプ、ホーン、ワイヤー、オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認する。
など電装品のモリヤーを接続しておき、(車種によりハーネスリケーブルを取外すと車両の制御機能が誤動作する場合があります。詳しくは車両の取扱説明書をご参照ください。)

●ランプ、ホーン、ワイヤー、オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認する。

※取付後の修復チェックを確実に行なう。

●ボルト、ナット、の締め付けには、寸法の合った工具を利用して確実に行なう。
※締め付けトルクの指示がある部位は規定トルクで締め付ける。

●各コネクタやターミナル端子は、確実に接続の事。
※接続不良を防止する。

●ハーネス(配線)の際は車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとめて、クラップを使用して固定しうらさせない。

※イグナイタ、バルブ間の配線を絶対に結ぶないでください。

●ハーネス配索後、修復前に取り付けた部品の作動チェックを行うこと。
※誤配線の防止。

●車両のワイヤーリングハーネスを強く引張らないこと。
※コネクタ外れや断線を防ぐ。

●部品の取付けや、外したフィニッシャー類を取り付ける際は、裏側のハーネスをひっかけたり込み込んだりしないこと。
※ハーネス断線を防止する。

●車両のコネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクター本体を持ってロックを外すこと。
※ハーネス断線を防止する。

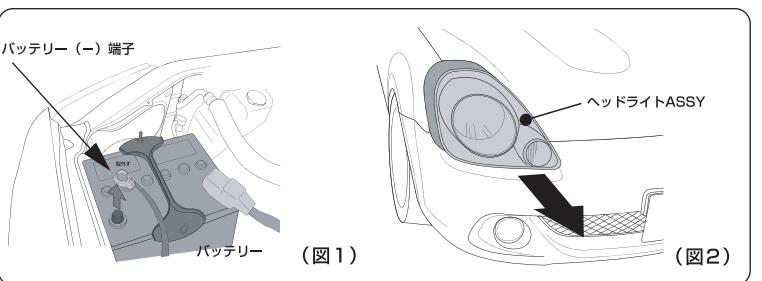
●部品の取付けや、外したフィニッシャー類を取り付ける際は、裏側のハーネスをひっかけたり込み込んだりしないこと。
※ハーネス断線を防止する。

●車両のワイヤーリングハーネスを強く引張らないこと。
※コネクタ外れや断線を防ぐ。

[H.I.D.取付手順]

1.電源の遮断 (図1)

バッテリーのマイナス(-)端子を取り外すなどで車両に供給される電気を遮断してください。
※バッテリーのマイナス(-)端子を取り外すとラジオや時計などのメモリーが消えてしまいます。
端子を取り外す前に記録を残してください。また、作業終了後には、必ず元の状態に復帰してください。



2.ヘッドライト脱着 (図2)

車両からヘッドライトASSYを取り外してください。
※車種により脱着方法が異なります。脱着の手順などは、整備解説書などをご参照ください。

3.H.I.D.バルブの取付け (図3)(図4)

ヘッドライトから純正ハロゲンバルブを取り外し、H.I.D.バルブをハロゲンバルブ脱着の手順で取付けてください。(図3)

【純正防水カバーに貫通穴がない場合】(図3)

ヘッドライトユニット(ロービーム側)の防水カバーが樹脂(プラスチック)やゴム製で、貫通の穴がない場合、H.I.D.バルブの電源配線を通す為に下記の加工が必要となります。

①防水樹脂カバーへ25ミリの丸穴を開けてください。

※穴開け位置は、防水カバーを取付けた際にH.I.D.バルブの真後ろにくる様に位置決めを行ってください。

※防水カバーへ開け穴は、真円になる様、ホルソー(穴開け工具)などを使用し、加工をおこなってください。

②防水樹脂カバーへ開けた穴にH.I.D.バルブの電源配線をヘッドライトの中から外に出る様に白線、黒線、赤線をそれぞれ通してください。

③H.I.D.バルブの電源配線に付属の防水ゴムキャップを樹脂カバーへ開けた穴に隙間ができるないようにセットし、防水樹脂カバーと防水ゴムキャップの接合部をシール材などで防水処理してください。

【純正防水カバーに貫通穴がある場合】(図4)

ヘッドライトユニット(ロービーム側)の防水カバーが樹脂(プラスチック)やゴム製で、貫通の穴がある場合は、下記の手順にて取付けをおこなってください。

①防水樹脂カバーへ開けた穴にH.I.D.バルブの電源配線をヘッドライトの中から外に出る様に白線、黒線、赤線をそれぞれ通してください。

②H.I.D.バルブの電源配線に付属の防水ゴムキャップを樹脂カバーの穴に隙間ができるないようにセットし、純正防水カバーと防水ゴムキャップの接合部をシール材などで防水処理してください。

【電源線の接続(システム起動電源: 12V)】

H.I.D.システムの起動電源線(赤線)と車両側のバルブ電源線(12V電源)の接続をおこなってください。

①防水ゴムキャップに付属の赤線を車両側のバルブ電源カプラーまたは、端子へ接続してください。

②接続部を絶縁テープなどで、確実に絶縁処理をおこなってください

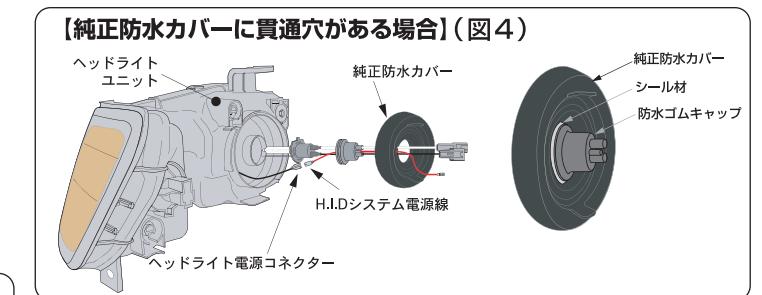
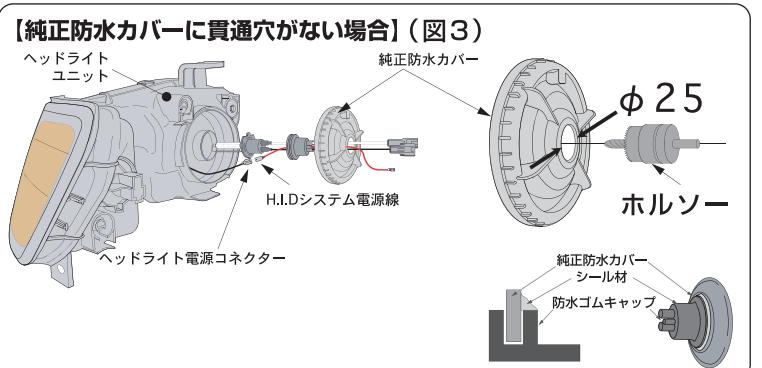
【アドバイス】

※H.I.D.システムの起動電源線(赤線)と車両側のバルブ電源線(12V電源)の接続をおこなう場合は、テスターなどで必ず12V電源位置の確認をお願いいたします。

※電源線の接続後は、絶縁テープなどで必ず絶縁処理をおこなってください。

※防水ゴムカバーの接合部は必ず、防水処理をおこなってください。

※H.I.D.バルブで電源コネクターがヘッドライト外部にある場合や、純正 H.I.D.の場合は上記作業は省略されます。



4.イグナイタの取付け (図5)

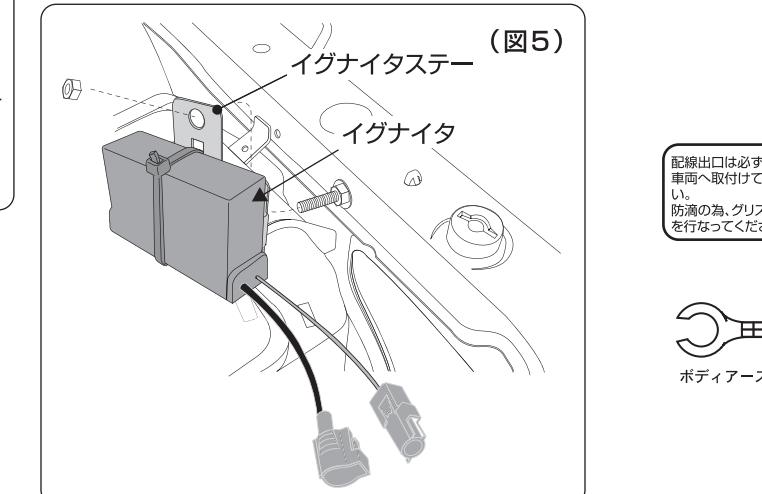
1) イグナイタをイグナイタ用汎用ステーとタイラップ(大)で、図の様に車体へ組付けてください。

※車種により取り付けの場所や方法が異なりますので固定方法は取付けられる車種ごとにご検討ください。

2) 1)で組付けたイグナイタをヘッドライト周辺の高温になりやすい場所や水などの掛け易い場所を避けて車体へ確実に固定してください。

【アドバイス】

※イグナイタ本体をタイラップなどで固定する場合、強く締め過ぎると、変形や破損する場合がありますので、十分ご注意ください。



5.インバータの取付け (図6)

1) インバータをインバータ用汎用ステーとタイラップ(大)またはインバータ本体にある3ヶ所の固定ブラケットにボルトナットで、車体へ組付けてください。

※車種により取付けの場所や方法が異なりますので固定方法は取付けられる車種ごとに異なります。

付属のステーを車体の取付け場所に合う様加工をご検討ください。

※文中のボルト、ナットは付属しておませんので、別途ご用意ください。

(取付に必要なネジサイズ及び個数) M5×15ボルト、M5ナット 各6個)

2) 1)で組付けたイグナイタをヘッドライト周辺の高温になりやすい場所や水などの掛け易い場所を避けて車体へ確実に固定してください。

3) インバータ電源線を接続し、ギボシ端子(オス)赤線と防水ゴムカバーに取付いているギボシ端子(メス)を接続してください。

4) 車両側カプラーの検電を行ない、プラス側と防水カバーに取付いている端子を接続してください。

※車両側カプラーの検電を行なってから接続してください。車両によりランプスイッチがOFFの状態でも電圧(12V)が常時供給されている車両があります。

その際は、インバータ電源ハーネスのケワ形端子(黒線)を車両側ランプカプラーのマイナス端子へケワ形端子を加工し接続してください。

【アドバイス】

○取付作業や電源の接続を行なう前に、テスターなどを使用し必ず、電源制御方式の確認作業を行なってください。

※バッテリーや他の電子機器などのプラス(+)電位がインバータ、H.I.D.システムに接触しない様、十分に注意してください。
接触させてしまうとインバータの故障の原因となります。

○インバータは電子回路を使用した精密部品の集合体です。

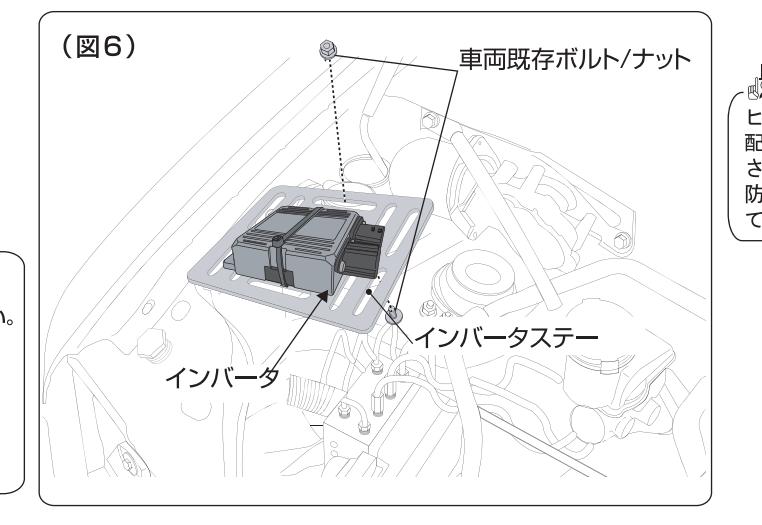
車両へ取付ける際は、激しい振動やガタツキなどが無い様、確実に車体へ固定してください。

○イグナイタ、インバータの作動温度域は、-30°C~+80°C以内です。

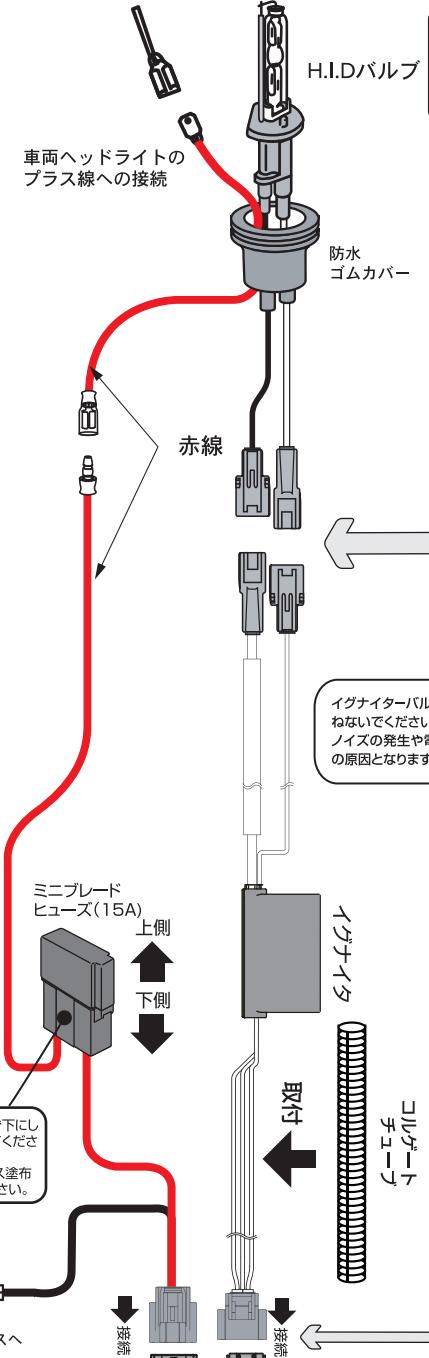
極端に温度が上昇する様な場所(ラジエターやエンジンの近く)への取付けは、絶対に行なわないでください。

ご注意
※アース取得端子部の接触不良の原因による点灯不良にご注意ください。
しっかりとアースを落せる部位に取付け、経年劣化による錆対策を行なってください。

※バッテリーマイナス側に電流センサーが装着されている車両へ取付ける場合、バッテリーマイナス端子に接続しないでください。
車両側充電制御が最適に行なえない事があります。
この様な車両の場合、ボディーアースへ接続してください。



純正ヘッドライトロービーム配線

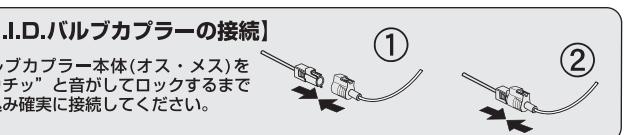


※H.I.D.システムを取付けの際、車両側コンピュータの近くや車両側配線と配線を束ねないでください。
また、バルブライナータ、イグナイターアンパーア、H.I.D.システムの配線を、束ねるとノイズの発生原因となる場合があります。
車両によりH.I.D.システムのノイズが影響し、ラジオノイズや故障の原因となる場合があります。
この様な場合、配線の取り回しやイグナイタ、アンパーアの取付け位置、アースポイントの変更を行なってください。

6.車両の復帰

H.I.D.取付手順1~5の作業で、車両から取外した部品を元の状態に復帰させてください。

※ご注意
最後に必ず点灯テストと光軸の確認および調整をおこなってください。
この時点で作動に不具合(点灯しないなど)が発生した場合は、前項のトラブルシューティングをご参照の上、各部の点検をおこなってください。



【バルブタイプ別注意事項】

【H1仕様のヘッドライトへ装着する場合】

①ヘッドライトのバルブ固定マウントにアースが接続されている場合、電気的な障害が発生しやすくなる為、アース接続部を必ずおこなってください。

②車両側シリアルの入口が小さく、挿入時にH.I.D.バルブのガラス面が干渉する場合があります。
バルブ插入口の奥が9ミリ以下の場合、必ず下記の加工をおこなった後に、バルブの取付作業をおこなってください。

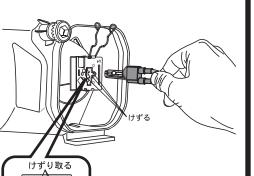
【加工手順】

①シリアルのリリード(リード)挿入口でモルビット等で、H.I.D.バルブのガラス面が当らない程度で開削して下さい。

※モルビットの刃先が削り切れていない場合、ノイズの発生や電圧降下を起こし故障の原因となります。

②H.I.D.バルブ挿入時は、必ずバルブの配線部分を持っておこなってください。
※この様な場合、バルブの土台(ランプ)を持ち挿入をおこなうと、加工不良等があった場合も損傷の原因となります。

※BMW3シリーズ(E36)に装着する場合は、バルブ取付部が2重構造となっておりますので、手前側と奥側の両方のバルブ挿入口を加工してください。



【HB仕様のヘッドライトへ装着する場合】

CATZ H.I.D.システム HBタイプは、HB4(9006),HB4-J(9006J)および、HB3(9005),HB3-J(9005J)が使用されている

ヘッドライトに付属可能な汎用タイプです。

上記バルブのタイプ毎に装着方法が異なりますので、下記の手順をおこなってください。

【タイプ別装着手順】

【HB4に使用する場合】

HB3・9005・9006Jに使用する場合

①シリアルのリリード(リード)挿入口でモルビット等で、H.I.D.バルブのガラス面が当らない程度で開削して下さい。

※モルビットの刃先が削り切れていない場合、ノイズの発生や電圧降下を起こし故障の原因となります。

②H.I.D.バルブ挿入時は、必ずバルブの配線部分を持っておこなってください。

※この様な場合、バルブの土台(ランプ)を持ち挿入をおこなうと、加工不良等があった場合も損傷の原因となります。

※BMW3シリーズ(E36)に装着する場合は、バルブ取付部が2重構造となっておりますので、手前側と奥側の両方のバルブ挿入口を加工してください。

【注意】
上記の作業をせずに装着作業をおこなった場合、バルブ本体を破損させる可能性がありますので十分ご注意ください。
また、これに起因する不具合については、クレームとしてお受けできませんので予めご了承ください。

【H4仕様のヘッドライトへ装着する場合】

①CATZ H.I.D.システム H4タイプを車両に装着する場合、車両により電源の制御方式が異なりますので、装着作業を開始する前に必ず、下記の手順をご参照の上取付作業をおこなってください。

【プラスコントロール車の場合】※変換ハーネスが必要です。

【変換ハーネス接続手順】

①シリアルに付属の変換ハーネスの3極カプラーを電源側H.I.D.バルブ接続してください。

②変換ハーネスの極カプラーに付属の6極リードを接続してください。

③シリアルの極カプラーから出ている赤線をシリアルの電源線と接続してください。

※変換ハーネスは、左右それぞれ接続してください。

【マイナスコントロール車の場合】

①シリアルに付属の変換ハーネスの3極カプラーを電源側H.I.D.バルブ接続してください。

②変換ハーネスの極カプラーに付属の6極リードを接続してください。

③シリアルの極カプラーから出ている赤線をシリアルの電源線と接続してください。

※変換ハーネスは、左右それぞれ接続してください。

【H4仕様のヘッドライトへ装着する場合】

①H.I.D.バルブカプラーを車両に装着する場合、車両により電源の制御方式が異なりますので、装着作業を開始する前に必ず、下記の手順をご参照の上取付作業をおこなってください。

【各端子電源の制御状況】

各端子電源の制御状況

コネクター構成図

ヘッドライトスイッチの状態

各端子電源の制御状況

コネクター構成図